

道祖土小
学校だより

校 訓 明るく 仲よく たくましく
7月号 令和7年7月1日発行

〒336-0907
さいたま市緑区道祖土1-1-1
電話 048-885-2512
FAX 048-811-1328
Web <http://saido-e.saitama-city.ed.jp>
E-Mail saido-e@saitama-city.ed.jp

「本市の教育が目指す人間像」

校長 荒木 大輔

校舎の裏側では、1年生が朝顔、2年生が夏野菜、3年生が鳳仙花、ひまわり学級がじゃがいもに、「早く、大きく育てね」と、優しく語り掛けながら、その成長を笑顔で見守っています。「種子や苗を自分で植え、花を咲かせ、実を育てる」という、植物の成長の仕方や命をはぐくむことを、教科として学ぶという体験は勿論、「自分の力で最後まで、愛情をもって育て上げる」という地道な経験が、「自分の夢を実現させるために、一生懸命努力する」ということと重なるように思えて、改めて大切な学習なのだとことを教えられます。今月も、きっと、色とりどりの花々やたくさんの実を膨らませた美味しそうな野菜が、私たちの目を和ませてく



「自分の夢の実現」と言えば、本校で受け入れた前期教育実習生の二人が、先月前半で一カ月間の実習を、とても素晴らしい輝きに満ちた「学びの姿」で終了しました。先輩の先生方の学習指導から少しでも多くの指導技術を学び取ろうとする貪欲な研究姿勢は勿論、児童理解に努めようと積極的に子どもたちとかがわろうとする姿。何より「教師になりたい」と強く思う、並々ならぬ情熱。どれも、合格点が付けられます。明るい挨拶や丁寧な言葉遣い、指導を受けた先生方に対して礼を尽くす態度。人間性も、申し分ありません。さいたま市が毎年実施する教員採用選考試験では、『豊かな人間性と社会性』『強い使命感と教育への情熱』『幅広い教養と実践的な専門性』を備えた、常に学び続ける教師」を求めています。ただ、私が着目したいのは、この二人が、現在道祖土小学校に通う子どもたちの「立派な先輩」であるということです。

伺ったことによれば、二人は同じクラスで本校を卒業しただけでなく、習い事も一緒に行っていた、言わば「親友」であったとのことでした。ただ、中学校からはそれぞれ違う場所に進んだことから、互いの繋がりが一度停止した状態になっていたとのことでした。でも、この教育実習を機に、また本校で再会した時は、二人とも自分の目を疑ったそうです。これは、単なる偶然ではなく、同じ夢をもつ者同士が、場所こそ違えど、これまでたくさんの努力を重ねてきた結果が必然となって、本校で相まみえたのだと私は信じています。そして、当時にこのような素晴らしい人材を育成してきた本校の職員の努力と功績に、改めて身の引き締まる思いにもなりました。

本市は、教育基本法第17条第2項に基づき、「第2期さいたま市教育振興基本計画」が設定されています。そこで謳われている「さいたま市教育ビジョン」(平成31年3月策定)では、「人生100年時代の到来を見据え、市民一人ひとりが生きがいを持ち、自らの能力を高め発揮しながら、豊かに生き、自分らしい輝きを放ち続ける姿が、本市の教育が目指す人間像『世界と向き合い 未来の創り手として 輝き続ける人』の姿である」と示されています。このビジョンに準えれば、二人の実習生は、本市が目指す人間像そのものです。しかも、この二人は、実習が終わっても、本施策の一つに掲げられてあるアシスタントティーチャー(教員を目指す学生の資質向上や子どもの学力向上を図るための、学生による学習支援ボランティアのこと)制度を使って、再び本校の子どもたちに、明るく・仲よく・たくましい子どもたちになるためのお手伝いをしてくださることになりました。

道祖土小の後輩たちに、「二人のよき先輩」のような人材へと成長できるための礎を、本校職員はしっかりと身に付けさせていかなければならないことを再確認させてくれた、そんな二人の更なる活躍する姿を、我々はこれからも、応援し続けてまいります。

